

開倫塾塾生の皆様

小・中・高校での学習内容の本質的理解なくして、大学での教育・研究はなく、社会に出てからの知識の活用はできない

開倫塾

塾長 林 明夫

開倫塾の創業者であり、塾長の林明夫です。

1. (1) 2016 年も、残すところ 5 週間、35 日余りとなりました。

(2) この 2 学期末から 3 学期の学年末までの 4 か月余り、130 日弱の間に、塾生の皆様は、学校の確認テスト・単元テスト・定期試験・実力テスト対策や、模擬試験対策、開倫模試対策、3 大検定（英検、漢検、算数・数学検定を開倫塾では 3 大検定と呼びます）対策等、様々な試験の準備・対策を行い、学力を身に着け、知識を身に着けることと思います。

(3) これに加えて、受験学年の皆様は入学試験があります。

(4) また、来年 4 月中旬には、新小学 6 年生と新中学 3 年生の皆様には、文部科学省で行う全国学力テストが算数・数学と国語の 2 教科で行われます。
2. (1) 塾生の皆様が受験するこれら様々な試験・テストで十分な成果が得られるよう、開倫塾では最大の支援・サポートを行います。

(2) どうか、安心して、開倫塾の先生方のご指導通りに勉強にお励み頂きたいと希望いたします。

(3) ただし、ハードな長時間自己学習は、塾生の皆様自身で主体的に、つまり、自分から進んで行ってください。開倫塾では、「学力とは主体的に学ぶ力である」と定義しています。
3. (1) 開倫塾の塾生の皆様が、学校や開倫塾で学ぶ際に、また、家庭で自学自習をする際に気を付けて頂きたいことがあります。そのことをお伝えしたくて、本日はこの文章を書いております。

(2) 是非、開倫塾の先生や学校の先生、ご家庭の皆様、お友達の皆様とともに、この文章をお読みください。

(3) 十分にご理解・ご納得頂けましたら、自分自身のこととしてお取り組み頂きますよう、お願いいたします。

4. (1) 私が、塾生の皆様にお伝えしたいこととは何か。

(2) 学校の各学年で学ぶことになっているすべての教科のすべての内容は、高校を卒業後約 80 %の皆様が進学する大学・短期大学・専門学校・専修学校などの「高等教育機関」での「教育・研究」の前提となっている。

(3) また、高校や大学などを卒業し、社会に出て仕事や社会的活動をするうえでの、豊かで充実した人生を歩むうえでの基礎・基本となっている、ということです。

(4) このことを十分に理解し、納得したうえで、学校や開倫塾で学び、また、家庭での自学自習に励んで頂きたいと、強く、強く要請いたします。

5. (1) 学校や開倫塾で学ぶ内容はすべて、上級学年、上級学校で学ぶ際に役立ちます。

(2) 小学校で学ぶ内容が身に着いていなければ、中学校の内容はよくわかりません。

(3) 同じように、中学校で学ぶことがよくわからなければ、高校で学ぶことはよくわかりません。

(4) まして、高校で学ぶことがよくわからなければ、最高学府といわれる大学で学ぶことはよくわかりません。

(5) 大学では、教育と研究を行います。大学1・2年生で学ぶことがよくわからなければ、大学3・4年生やその上の大学院での研究はできません。

(6) 小学校、中学校、高校、大学1・2年生の内容がよくわかっていないと、大学3・4年生の研究、大学院修士課程・博士課程での研究はできません。

(7) 大学院には、2年間の修士課程と3年間の博士課程があります。大学卒業直後ではなく、何年か何十年か後に大学院で学ぶ人がたくさんいます。日本の大学を卒業し、しばらくしてから外国の大学や大学院で学ぶ人もたくさんいます。このことも、よく覚えておいてくださいね。

6. (1) 現代は、知識や高度な情報が基盤になった知識基盤社会、高度情報化社会です。また、人・モノ・お金が国境を越えて激しく移動するグローバル社会です。さらには、様々な社会的課題が山積(さんせき)している課題山積社会でもあります。

(2) そのため、高校や大学、大学院を卒業後、社会に出て仕事をしたり、社会的活動をしたりするときも、また、豊かで充実した人生を送る際にも、小学校や中学校、高校で学ぶ内容は最低限度の基礎・基盤となり、すべて役立ちます。

7. (1) もう一つ、塾生の皆様に、是非、ご理解・ご納得頂きたいことがあります。

(2) それは、小学校、中学校、高校のある学年のある時期に学ぶことは、その学年のその時期でしか学ばないということです。

(3) 学校の各教科で学ぶことはすべて大切なことですが、そのことを学ぶのは、ある学年のある時期だけであるということです。

(4) そこで大切なことは、今、学校や開倫塾で学んでいることは、この瞬間だけ、人生で 1 回こっきりだということを自覚して、真剣に学ぶことです。

8. (1) これから来年 3 月 31 日までの 4 か月余りの間に塾生の皆様が取り組む様々な試験・テストは、大切な学習内容をもう一度勉強し直したり、不確かな知識を再確認したりするのにとても役立ちます。

(2) 試験・テストを積極的にご活用になり、十分に準備をしてよい点数を目指すことで、知識を確かなものとして身に付け、次の学年に進学したり、希望校進学を果たしたりしてください。

(3) 特に、各教科の重要事項の一つ一つは、いったいどのような意味なのか、その本質とはいったい何なのかを知る努力をすることです。

(4) 各教科で取り上げられる重要語句、重要事項の意味・内容をしっかりと理解することが大切です。

(5) <例>アルキメデスの原理、オームの法則とは何か。日本国憲法の 3 大原理（国民主権・基本的人権の尊重・平和主義）とは何か。比例・反比例、一次関数、二次関数とは何か。名詞、動詞、形容詞、副詞、不定詞、関係代名詞、前置詞とは何か。

(6) 大切この上ない各教科の基本中の基本の内容こそ、何が何でもしっかりと理解し、しっかりと身に着けましょう。

(7) 定義（どのような意味か）をしっかりと定着させる、何も見ないでスラスラと口をついて言えるまでに、何も見ずに正確に書けるまでにすることです。



9. (1) これに加えて、本格的な読書により思慮深さを身に着けることが大切です。
- (2) 大学で一番大切なことは、本格的な読書を行い、自分自身の考え方を確立することです。
学術論文を読み込むには、読書を積み重ねて、分析的・論理的な読解能力を身に着けることが求められます。
- (3) 本を少しも読まずに大学に進学することは考えられません。
- (4) 新聞を読み、批判的思考能力を身に着けることも、大学での勉強では不可欠です。
- (5) 中学校、高校時代に本や新聞を読む習慣を身に着けていない人が、大学生になり急に新聞を読み込むことは困難を極めます。
- (6) 大学では、コンピュータの基礎、ワードやエクセルの基礎が求められます。発表はパワーポイントで行われます。レポートは、文献を読み込み、すべて自分のことばでまとめ上げなければなりません。コピペをそのまま提出することは論文の盗作ですので、剽窃(ひょうせつ)チェッカーで簡単に見破られ、単位は取得できず、場合によっては留年や退学となります。先生は一発で見抜きます。
- (7) 大学では反転授業が中心となりますので、大学で最も求められるのは「予習の習慣」です。
わからない語句があったら気持ちが悪いと思い、辞書や参考書を用いて自分で調べることは大切な能力です。図書館の使い方を身に着けることも大切な能力です。
授業中にノートを取り続けること、そのノートを整理して活用すること、具体的には、ノートを用いて大学の定期試験に備えることも大切です。
中学校、高校時代に授業中に大切なことがノートに取れ、それを定期試験に活用できない人が、大学で授業のノートが取れ、試験で活用できるかといえば、極めて難しいといえます。
- (8) 効果の上がる学習の仕方も、小学校、中学校、高校で身に着けることが大切です。開倫塾の「学習の3段階理論」は、大学や大学院、社会で勉強するときにも役立つように考えられていますので、開倫塾の塾生である間にしっかりと身に着けてくださいね。がんばりましょう。
11月ですが、雪になってきました。どうかお気をつけてお過ごしください。

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授)

2016年11月24日(木) 9時09分

